

令和5年度(2023年度)
京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程入学試験問題
筆記試験A(①英語)

下の文章は、Michael Tenzer (ed). 2006. *Analytical Studies in World Music* (New York: Oxford University Press)の序文から引いた文章です。よく読んだ上で、下の問い(1～5)に答えてください。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

問1、最初の下線部①の全体を、日本語に訳してください。

問2、下線部②冒頭の **that** あるいは **that pace** が何を指しているか、説明した上で、この文の全体を日本語に訳してください。

問3、下線部③では、米国の現代の読者にわかりやすいように、**mail order bride services** や **Las Vegas honeymoons** などの喩えが使われている。これらの喩えが意味するところを、前後の文章の内容とも合わせて、わかりやすく説明してください。

問4、下線部④の全体を、日本語に訳してください。

問5、文章全体に対する感想や質問を、英語で記してください (分量は自由)。

令和5年度（2023年度）
京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程入学試験問題
筆記試験A（⑥日本語現代文）

次の文章は金城厚著『琉球の音楽を考える』（榕樹書林）から引いた文章です。よく読んで、あとの問い（問1～問4）に答えてください。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

問1、第一段落 (①) 最後に「三味線が本土に伝えられたのは、その直前の永禄年間ということになる」とあるが、なぜそのように言えるのか、説明してください。

問2、次にあげる文は、もともとの著作の中から、わざと抜き出した文です。この文は本来、①から⑧の段落の、どの段落の後におかれるのが、適切でしょうか？

また、当時は盲人の琵琶法師であった座頭や、河原者や遊女といった下層の芸能者がこれを手にして弾くようになったことも、これらの記事から窺い知れる。

問3、第二段落 (②) から第八段落 (⑧) までにおいて、著者は「琉球の三線と日本本土の三味線」の違いをわかりやすく論じています。著者の論点を要約してください。

問4、著者の述べていることに対して、どのような意見を持ちましたか。自由に記してください。

令和 5 年度（2023 年度）
京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程入学試験問題
日本音楽研究専攻 専門科目
筆記試験 B（小論文）

問

次の語のうち 3 語以上をキーワードとする、日本の音楽^{*}に関する小論を書きなさい。

災害(天災)	地域	信仰	戦争(戦・紛争)	経済	
国家	教育	交通	疾病	福祉	身分
生業	海洋	都市	民族	政策	流行

冒頭に小論のタイトルを記し、つぎに取り上げたキーワードを列記し、そのあとに本文を書いてください。

※ 日本の音楽全般について論じてよいし、特定のジャンルや楽器、人物、出来事、歌唱演奏技法などに特化して論じてよい。